

ふだん着の鎌倉



2009.?



最終回・古の鎌倉を現代に復活！ 通りの名前を使った新しい鎌倉のまちはいかが？

携帯サイトでもご覧いただけます
<http://itoday.jp/>

▶ PCの方は <http://kamakuratoday.com/>

いよいよ「ふだん着の鎌倉」も最終回。今まで約一年にわたって古の鎌倉に思いをはせたり、ちよっと変わった視点で鎌倉のまちをみてきました。前号では鎌倉にかすかに残る古き通りの名前にちよっと触れました。今回はその通りの名前を使った新しい鎌倉のまちの姿を思い描いてみたいと思います。

鎌倉は多くの人が訪れる観光地です。その一方で「落ち着いた場所で静かに暮らしたい」という住民の方もいらっしゃいます。さらに商売を営む人も、それぞれの立場でそれぞれの主張があるでしょうが、どの人にとっても「鎌倉というまちが好き」ということには変わらなれないと思います。そんな鎌倉のまちを皆がもっと好きになるには……？

残念ながら鎌倉のまちには昔の街並みがあり残りません。しかし今我々が使っている道路は源頼朝の都市計画、北条泰時の道路整備がほぼそのままの形で残っているといわれています。過去に思いをはせると同時に現代にそれを蘇らせる…。小町大路、横大路、今小路…、鎌倉のまちの道路に昔の通りの名前を復活させてみたらどうでしょうか？

昔の通り名の復活は、郷土愛を育むことができると思いますが、ただ「復活」と唱え



ても実用性がなければ定着しません。そこで注目したのが国土交通省が行っている社会実験の「通り名で道案内」。平成十八年度から始まり現在では二十五を超えるまちで実施されました。これは土地に不慣れな人に通りの名前と距離を表す番号を記載した「標識板」で目的地への案内をしようという試みです。まさに観光地・鎌倉にピッタリではないでしょうか？

国土交通省社会実験「通り名で道案内」

国土交通省HPより <http://www.mlit.go.jp/road/torime/>

具体的にはまず通りに名前をつけます。その通りの起点から約10m単位で「位置番号」をふっていきます。最初の10mの地点が「#1」その先の20mの地点が「#2」となります。これを導入することによって例えば鎌倉駅から鶴岡八幡宮までの道案内は、「小町通りを入り、小町通り#9を右にまがり、若宮大路#47を左に曲がり若宮大路の#0まで行きます」となります。鶴岡八幡宮までの距離（何mか）も簡単にわかりますし、道を聞かれた人とても説明しやすいのではないのでしょうか？

まちのスケール感がわかり、訪れた人にとって歩きやすい観光地となることでしょう。鎌倉に住んでいる人にとってみると、通りの名前を使うことによって古に思いをはせることがで

き、いつそ郷土愛が深まることでしょう。商売を営んでいる人にとっては自分のお店の場所まで案内しやすくなります。



例えば鎌倉警察署の住所が「鎌倉市小町1-1-8-4（若宮大路64）」と表記【注※】されていたらどうですか？ お店の場所やスポットが「通りの名前」と「距離」で表される。実用的で便利、しかも郷土愛を育むことができる。過去と現在が一本の線で結ばれ、将来の鎌倉のまちがより良くなっていくためのいいことづくめの方策ではないでしょうか？

ストレスの多い現代社会。少しでもストレスを軽減したいのは皆の共通した気持ちです。鎌倉を訪れる観光客の人たち、鎌倉で静かに暮らす人たち、鎌倉で商売を営む人たち…、皆がもっと鎌倉というまちを好きになり、皆で鎌倉というまちをさらに誇れるまちにしたいこうという努力をしたら、まちからストレスが消えて誰もが「ふだん着」で楽しめる鎌倉になっていくのではないのでしょうか？

歴史ある鎌倉のまち。今小路、大町大路…、そんな通りの名前が日常にとけこんだ鎌倉のまちになったらなあ…。

【注※】小町通りの記述は鎌倉駅側の小町通りの入口を起点とし、鎌倉警察署の「若宮大路52」、鎌倉郵便局の若宮大路64は三の鳥居を若宮大路の起点とし位置番号をおおよその距離でふったものです。あくまでも例示とお考えください。

昔の通り名に関し、鎌倉国宝館館長・三浦勝男様に助言を頂くとともに北条時宗との時代展「の資料を参考にいたしました。

「ふだん着の鎌倉」全12回シリーズ制作：有限会社鎌倉トゥデイ